

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	477 大山田地区家庭雑排水処理施設維持管理費	会計	10	農業集落排水事業特別会計
		款	01	事業費
		項	01	施設管理費
基本 施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	目	01	施設管理費
		細目	586	家庭生活雑排水処理施設管理費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	大山田地区家庭雑排水処理施設維持管理費
担当部課	コード	190200	担当者	中田 光裕
	名称	産業建設部下水道課	氏名	連絡先 43 - 2318 (内線)

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	大山田地域の家庭雑排水処理区域内の住民	※対象件数	987戸
成果(どうする)	簡易処理施設の適正な維持管理によって、家庭等からの雑排水が、浄化され排出されることにより、地域の公衆衛生の向上が図られる。		
根拠法令・要綱等	大山田農業集落家庭雑排水処理施設の設置及び管理に関する条例		
開始年度	平成 53 年度	関連事業	
終了年度	平成 年度		
H21 事業 内容	家庭雑排水簡易処理施設の保守・点検 大山田地域 35施設 農業集落排水事業供用開始地区の家庭雑排水汚水樹撤去工事		
社会情勢の 変化等			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
水質検査	回/年	目標	1	1	1	1
		実績	1	1		
家庭雑排水汚水樹撤去工事	箇所	目標	20	20	10	10
		実績	0	0		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
排出基準達成率(達成箇所/測定箇所)		処理水の品質検査結果が目標放流水質基準を満たしていることが重要であり、比率を指標とすることによって、適正な維持管理ができていくかを把握できる。	%	目標	100	目標	100
				実績	100	実績	100
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	2,602	1,578	4,955	4,955				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	2,602	1,578	4,955	4,955				
一般財源	0	0	0	0				
事業投入人件費(B)	0.2人	1,656	0.1人	792	0.1人	720	0.1人	
フルコスト(A)+(B)	4,258	2,370	5,675	5,675				

### 事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
達成度	家庭等からの雑排水が浄化され、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図れる。	
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
効率性	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
効率的	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	
	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
達成度	撤去工事等については、樹撤去の希望物件が無い。	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効率性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
達成度	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
効率性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

改善策	当面的間は現状維持だが、山田南・山田北・阿波地区の農業集落排水事業の早期推進を図り、事業完了後は、家庭雑排水処理施設をなくす方向であります。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 予算の範囲内で本施設の維持管理に努め、適正かつ効率的に事業を遂行した。

### 今後の方向性(Action)

担当課長氏名	尾登 誠
事業の方向性	【方向性】 手法改善 【理由】 簡易処理施設の適正な維持管理により区域内の公衆衛生及び環境衛生の向上を図るが、農業集落排水事業の完了後は、当該施設をなくす方向である。
現時点における課題、その他	汚水処理能力の保持には、簡易処理施設の適正な維持管理を継続的に行う必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	適切な点検・維持を励行することにより、動力費や修繕費等の低減を図る。委託業務の見直し等による委託料の減等コスト削減の工夫を行う。